

## (特非) サステナビリティ日本フォーラム

# 2050年に向けた企業のマテリアル課題 特定のプロセス研究

特定の範囲の中で  
長期志向を持つ企業

26社

ESG\*に関心を持つ  
投資家の数(国内外)

1,400社ほど

活動の全体目標  
に対する達成度

80%



長期志向を促すためのシナリオ

### ◆成果と工夫したポイント

#### ●成果

地球規模の環境問題に関連するアジアを含む、2050年の社会及び社会ニーズが提示されることで、長期的なビジョンを持ち、改善を図ろうとする企業数26社のうち、さらなる取組みに意欲的な企業が10社現れた。

#### ●工夫

作成したシナリオは1つの考え方として補足的に活用し、WSの成果・ステークホルダーの意見を前面に出した。

### 課題

今後アジアを始め新興国に経済的な比重が高くなり、経済成長に伴う環境負荷の増加が懸念される。企業の経営層が長期ビジョンを描き、影響度の高い課題を特定することが望まれる。

### 目標

- ・すでに長期目標を掲げる企業を調査し、優良事例を挙げ、啓発する。
- ・2050年の明るい（オレンジ）シナリオと暗い（ブルー）シナリオを活用し、様々な有識者の意見を募る。

### 活動内容

2050年の超長期志向を持つ企業を増やし、それぞれの重要な課題について取り組み始めてもらえるよう取り組んだ。具体的には、資源制約、環境制約を前提に2050年の明るい世界（オレンジ）と暗い世界（ブルー）を描き、企業の目指す方向を示した。ステークホルダーの意見も集め、長期志向の啓発活動に注力した。さらに長期志向をすでに持つ先行企業の調査を行った。個別企業とのワークショップを実施し、ノウハウを蓄積した。



長期志向を持つ企業の調査に関わるMTG

### 達成できなかったこと

長期的視点と長期計画策定の重要性を日本企業の中に一定程度、広めることができた。しかし、重要課題を特定し、取組みを加速させるまでには至らなかった。

### 今後の展望

長期的な視点を持ち、経営と一体となって、環境取組みに力を入れる企業が評価されるしくみづくりに関与する。